

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	子ども教育専門ゼミ I					授業形態	演習		
科目コード	750114	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	渡邊 光浩							ICT活 用	○
授業概要	<p>本授業は、主に小学校教育を教育学の観点から研究していくための基礎的な力を養うことを目的とする。 情報の収集・整理・分析・まとめ・表現を通して、情報を活用する方法を学ぶ。 研究テーマに沿った先行文献の調査やまとめ、発表、ディスカッションを通して、テーマを探求する方法を学ぶ。 さらに、自らのテーマに沿った課題を発見し、その課題の解決に向けて、調査・分析を進め、さらに探求する力を養う。 実務経験教員として、研究課題の意義や研究方法、成果と学校現場での実践の関連等を解説する。</p>								
関連する科目	前年度に子ども教育入門ゼミを、次年度に子ども教育専門ゼミⅡを履修すること。								
授業の進め方 と方法	<p>基本的に、演習形式で授業を展開する。 科目の前半は、各自の関心のある研究テーマに沿って課題として出された先行文献のまとめを行い、全体で発表し、ディスカッションを通して、多角的に考察する力を養う。 科目の後半は、自らのテーマに沿った課題を発見し、その課題の解決に向けて、調査・分析を進め、まとめて全体で発表し、ディスカッションを通して、成果と課題を明らかにする。 先行研究や自分の研究についてスライドにまとめ、データを共有した上で、プレゼンテーションを行う。また、授業支援システムを用いて、リフレクションを行い、共有する。</p>								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション（自己紹介と研究の方向性の確認）								
授業計画 【第2回】	研究テーマの要旨発表とディスカッション								
授業計画 【第3回】	研究テーマに沿った先行文献の検討								
授業計画 【第4回】	先行文献のまとめとディスカッション①								
授業計画 【第5回】	先行文献のまとめとディスカッション②								
授業計画 【第6回】	先行文献のまとめとディスカッション③								
授業計画 【第7回】	先行文献のまとめとディスカッション④								
授業計画 【第8回】	中間まとめ								
授業計画 【第9回】	研究テーマの再確認								
授業計画 【第10回】	研究テーマに基づいた課題の設定								

授業計画 【第11回】	先行文献の調査
授業計画 【第12回】	課題に沿った調査・分析①
授業計画 【第13回】	課題に沿った調査・分析②
授業計画 【第14回】	課題に沿った報告とディスカッション①
授業計画 【第15回】	課題に沿った報告とディスカッション②
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育工学に関する文献の内容を、他者にも分かるようにまとめ、発表できる。 2. 課題やその調査方法について、先行研究との異同を説明することができる。 3. 自らの研究について、問題と目的、方法、結果、考察の適切な構成で発表できる。 4. ほかの学生の研究について、質問をしたり、意見を述べたりすることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	先行研究を熟読してまとめたり、自分の研究について整理したりして、授業に必要な資料を作成し、発表する準備を行うこと (2.5時間)
授業時間外学習【復習】	自分の発表やディスカッションの振り返りや、他者の発表やディスカッションからの学びをリフレクションすること (2時間)
課題に対する フィードバック	毎回の課題（発表やりフレクション）は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	毎回の発表（50%）・振り返り（30%）・ディスカッションへの参加（20%）で総合的に判断する。
テキスト	特になし
参考書	必要に応じて文献や資料を紹介する。
備考	